

# どの子どもも生き生きと過ごす 教室、学校、地域のために ～発達障害の理解～



H27. 10. 31  
日野市教育委員会  
宮崎 芳子

# 発達障害をなぜ理解しなければならないか

○H26 障害者権利条約批准

インクルーシブ・合理的配慮・ユニバーサルデザイン

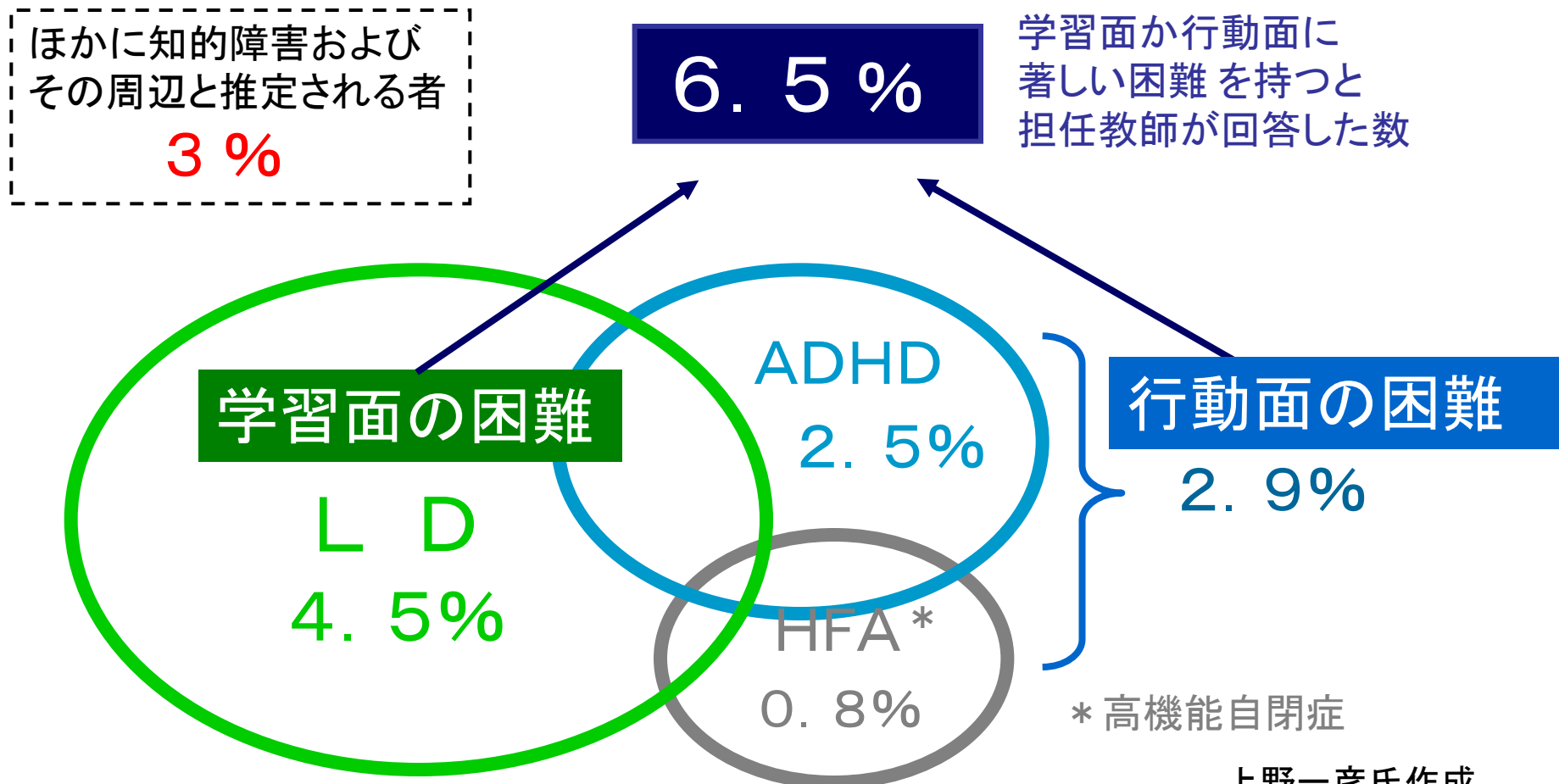
○28.4.1から障害者差別解消法によって:法的義務

○ハンデキャップに配慮する大学入試

26年度までに実施された配慮例:時間延長、チェック解答、別室、  
拡大文字、入口までの同伴者の付き添い、注意事項文書配布

# 発達障害 (LD・ADHD・高機能自閉症) は 通常の学級にどれくらいいるのか

通常の学級に在籍する特別な教育支援を必要とする児童生徒  
に関する全国実態調査 (文部科学省2012. 10)



# 特別支援教育とは

H19年 特別支援教育:従来の特殊教育だけでなく、発達障害を含む子供たちの教育を…

LD. ADHD. 自閉症、今後さらに増加 特にLD…3倍

発達障害の子の大学進学 米10.8% 日本 0.42%

困った子 = 本人が一番困っている子

不登校や心身症、非行等の不適応を起こしている子の中に多くの発達障害の子どもがいる

周りの理解・対応が大事

# ユニバーサルデザイン

障害のある人にとって、

暮らしやすい町は、

他のすべての人にとって、

暮らしやすい町である。



# 教育におけるユニバーサルデザイン

発達障害のある子にとって、  
参加しやすい学校、わかりやすい授業は、

他のすべての子にとっても、  
参加しやすい学校であり、  
わかりやすい授業である。

## 発達障害のある子への指針

### 成功体験の確保

失敗が生きるのは、成功に結び付く体験があってこそ  
スポーツの世界過去に成功体験が1回でもあるからできる

どれだけ成功体験を積み重ねられるか。

# LDの子どもの＜困り感＞の例

○授業がわからない／ついていけない／苦しい

○周囲から「ダメと思われてる」と感じる

○自己イメージの貧困化「どうせ僕なんか・・・」

→キーワード: **学習性無力感**

# ADHDの子どもの＜困り感＞の例

○じっとしていることの苦痛

○目に入ったものに気持ちがいってしまう

○友達とのトラブル多発

○わがままといわれてしまう

→ キーワード: **叱責の蓄積による心の荒れ**

# 自閉症スペクトラムの子どもの ＜困り感＞の例

- 周囲のペースとのずれ
- 感じ方の違い
- こだわりから離れられない
- パニックが起きてしまう
- あいまいな状況に耐えられない
- 変更があると不安定になる
- イメージするのが苦手
- 言葉通りにしか受け取れない



ドアが  
開かないよー

頭でどうやって  
開けるの？

頭を使ってごらん



# 発達障害に関わるためのキーワード

## ＜状況依存性＞

○LDは「学習の仕方」

○ADHDは「刺激量」

○自閉症スペクトラムは

「場が構造的であるかどうか」という状況に左右される。



状況を整えて困ることを減らす



合理的配慮



めがねをかける

# ひのスタンダード 教育のユニバーサルデザインを目指して

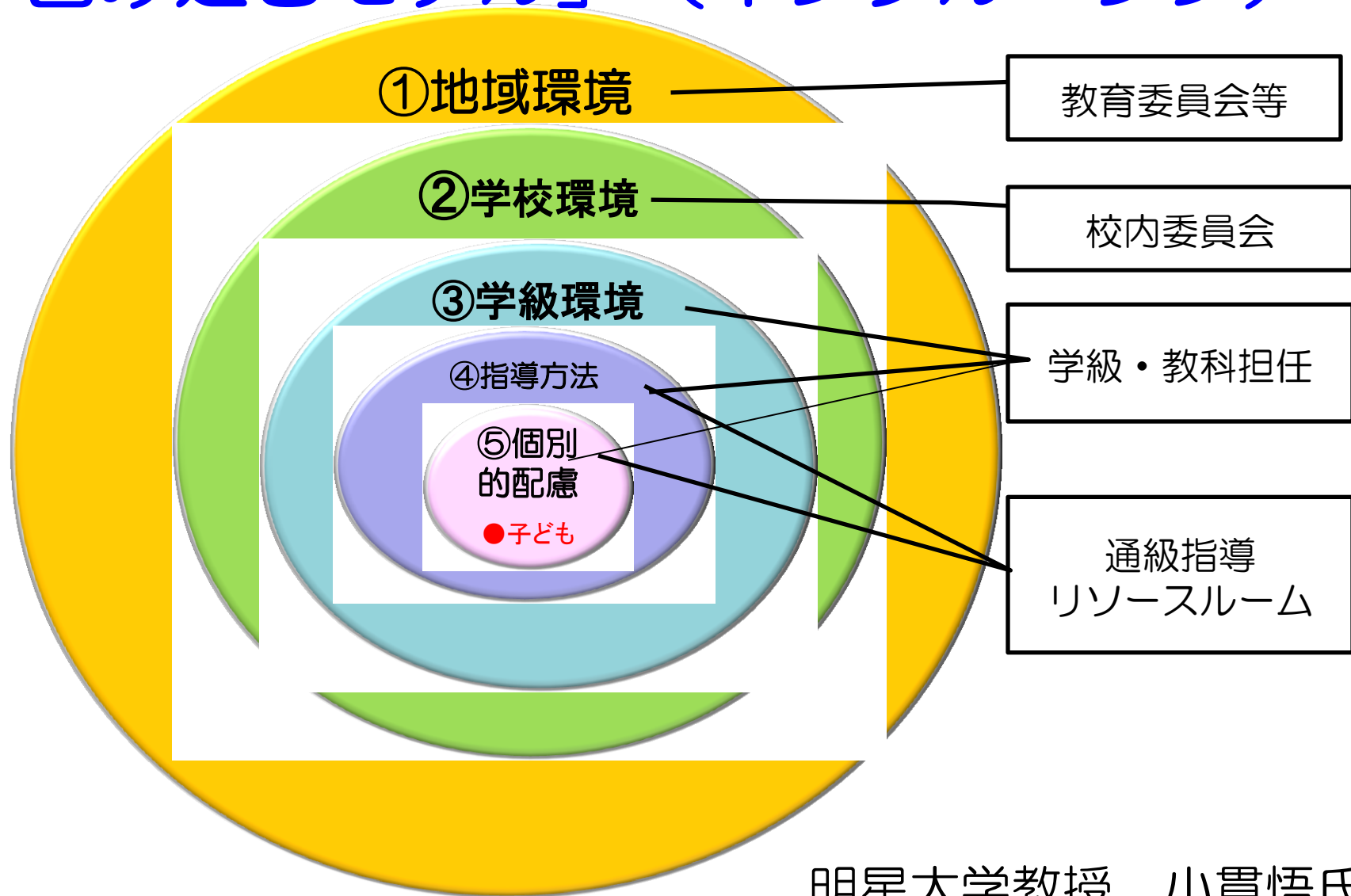


発売年月：2010.07.29  
現在9刷 東京書籍

「包み込むモデル」に  
よって整理されている

※うまくいった方法はユニ  
バーサルデザインであり  
特別支援教育の視点がある

# 子どもを中心にした特別支援教育のイメージ 「包み込むモデル」 (インクルーシブ)



明星大学教授 小貫悟氏

# ①地域環境

発達・教育支援センター「エール」

教育委員会・福祉  
早期支援、つながる支援

特別支援教育をどう進めるか  
方針を立て推進  
就学相談



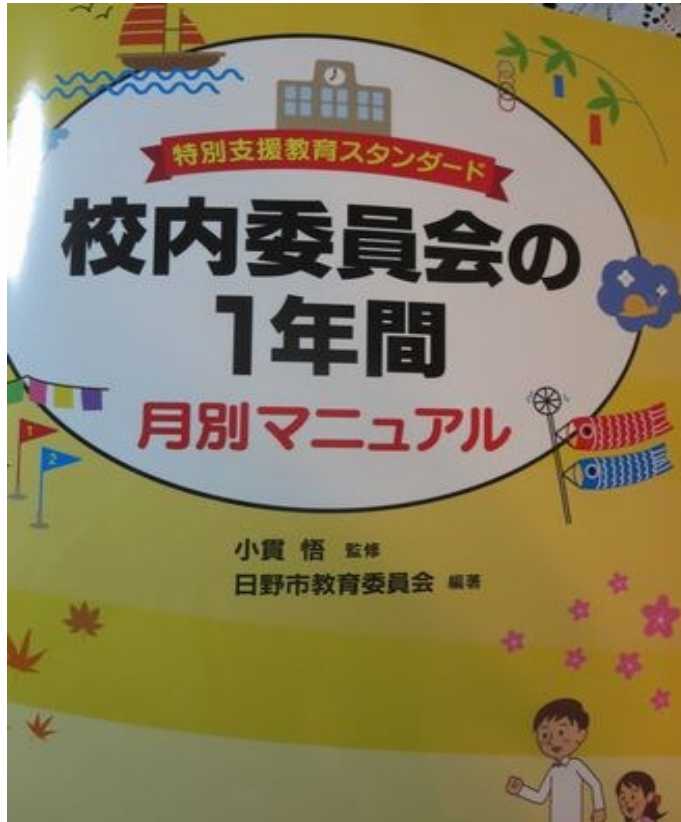
かしの木シート(0歳から18歳)  
就学支援シート・進学支援シート

姓、名、年齢	性別	年齢
住所	電話番号	
職業		
就学状況		
進学希望		
その他		
入学予定	日曜学校	小学校
卒業予定	年度	年度

教師の研修を支える  
専門家（大学教授・医師）と相談  
できるようにする



## ②学校環境 校内委員会中心である



(東洋館出版)

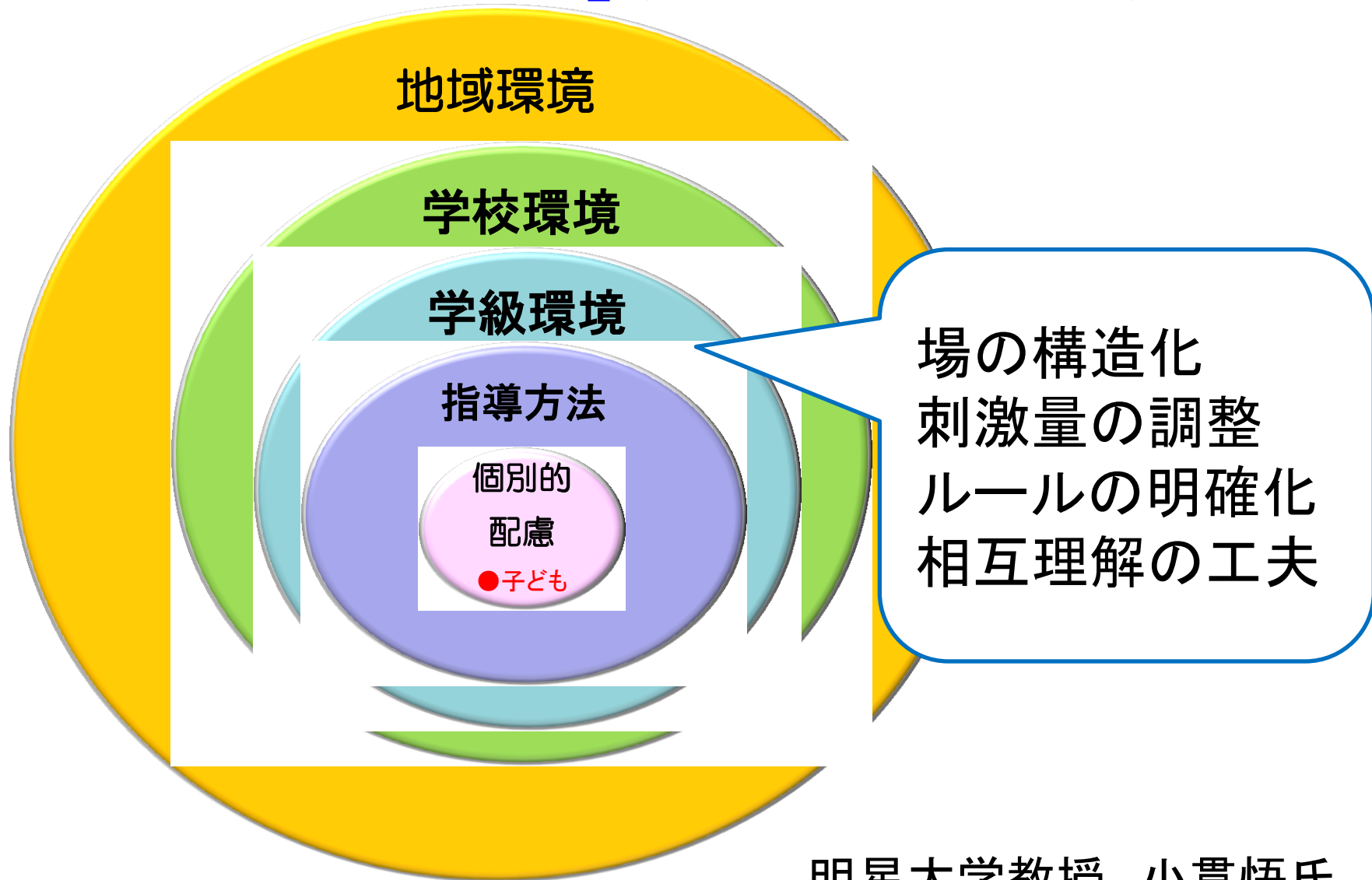
日野市コーディネーターと作った本

### 8つの役割

- I 組織作り
- II 理解啓発
- III 発見・把握分析
- IV 配慮・支援
- V 評価
- VI 引き継ぎ
- VII 連携
- その他：不登校対応



# 子どもを中心にした特別支援教育のイメージ 「包み込むモデル」(インクルーシブ)



明星大学教授 小貫悟氏

# 教師の工夫

## 子どもが見てわかるような掃除用具いれ





## 学級環境・障害に対応した環境づくり(土台)

### 就労し自立して生きるのに必要なスキル

ハードスキルよりソフトスキルの課題で仕事をやめる  
日常生活能力が大事 (起きる・着替え・歯磨き・片付け  
・あいさつなど)

日本にも町ぐるみで構造化している地域がある・・・ 自閉症  
にやさしいお店

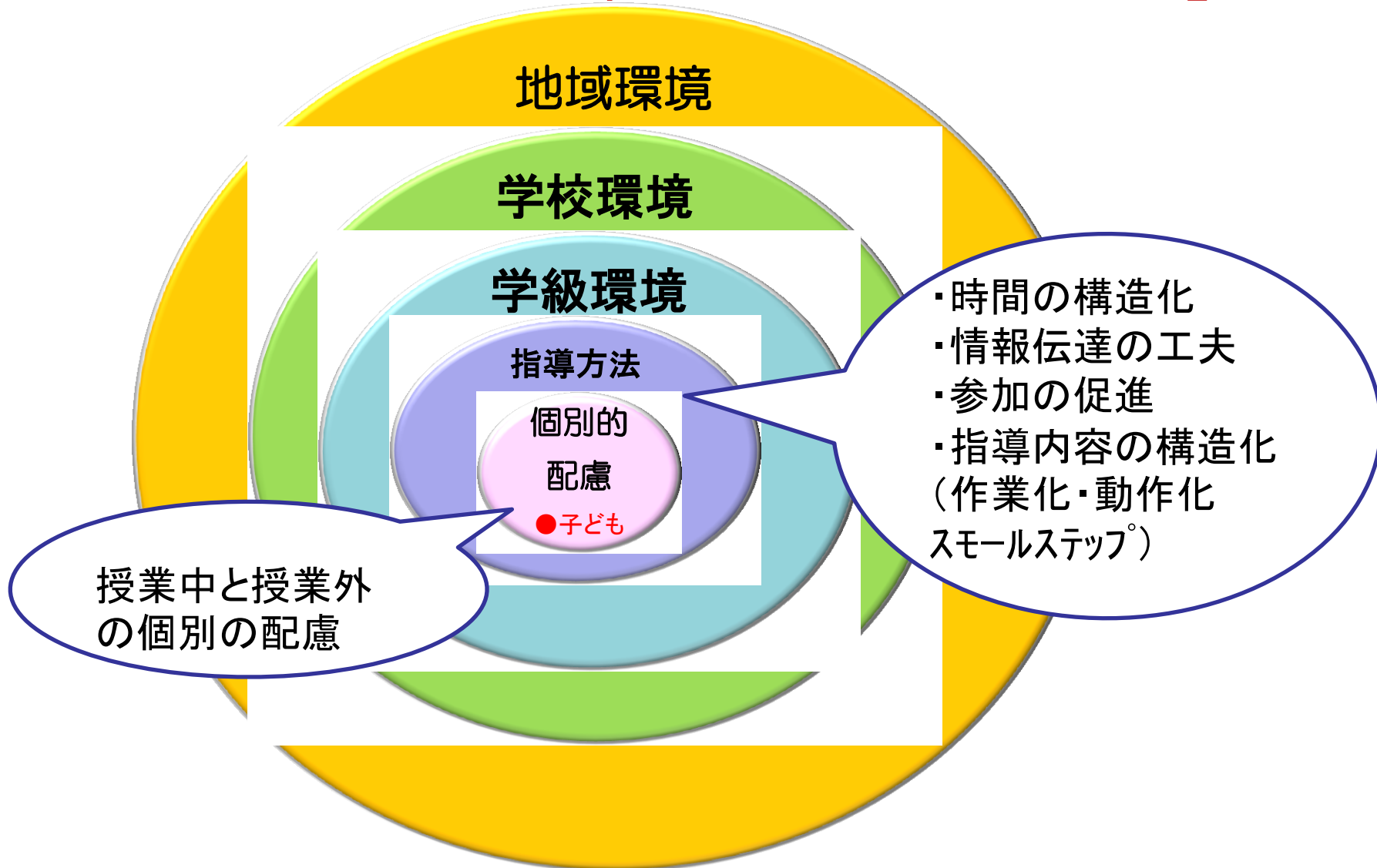
「無印」





# ひのスタンダード

## 子どもにとっての環境「包み込むモデル」





# 授業中・授業外の 個への配慮

全体→個

家庭学習でも  
取り組める

- ふりがなつきの教材(読み)
- 行を追える下敷き(読み)
- まずや行(書き)・パソコンで作文(書き)
- 九九表・計算器(計算)
- ヒントカード・拡大した文字

さりげなく  
選べる用紙・教具・  
テスト配慮

つまづきを予想し、  
ヒントカードを用意

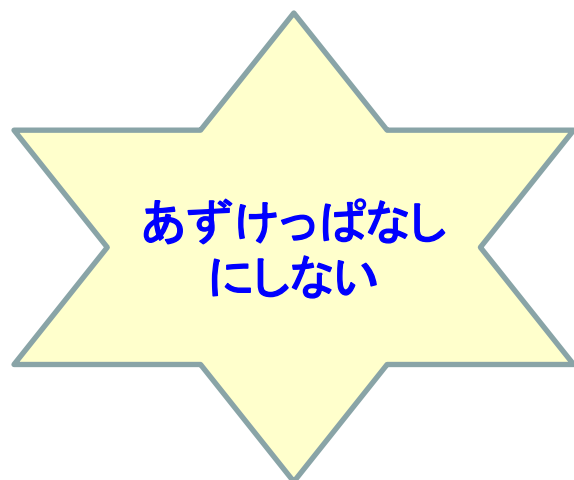
教室ではわかり  
ませんと  
言える環境

## ⑤ 個別的配慮

## 授業外

リソースルーム = 校内通級教室 「学習の保健室」

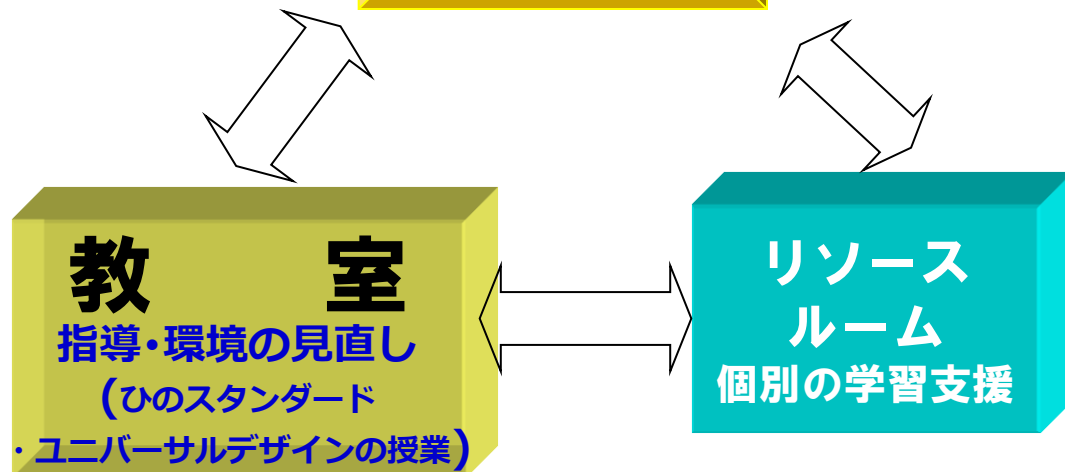
クールダウンに使わない。真剣に学ぶ部屋。



- H19 モデル校1校から
- H26 全学校17校、中学校3校  
372人が利用
- H27 中学校4校に拡大

<25年度調査から>  
小学校でリソースルームに通った子 中学  
での不登校0

### 校内委員会



# なんといってもよい授業 よい授業とは？



だれにもよいユニバーサルデザインの視点がある。

※教科のねらいが達成できること

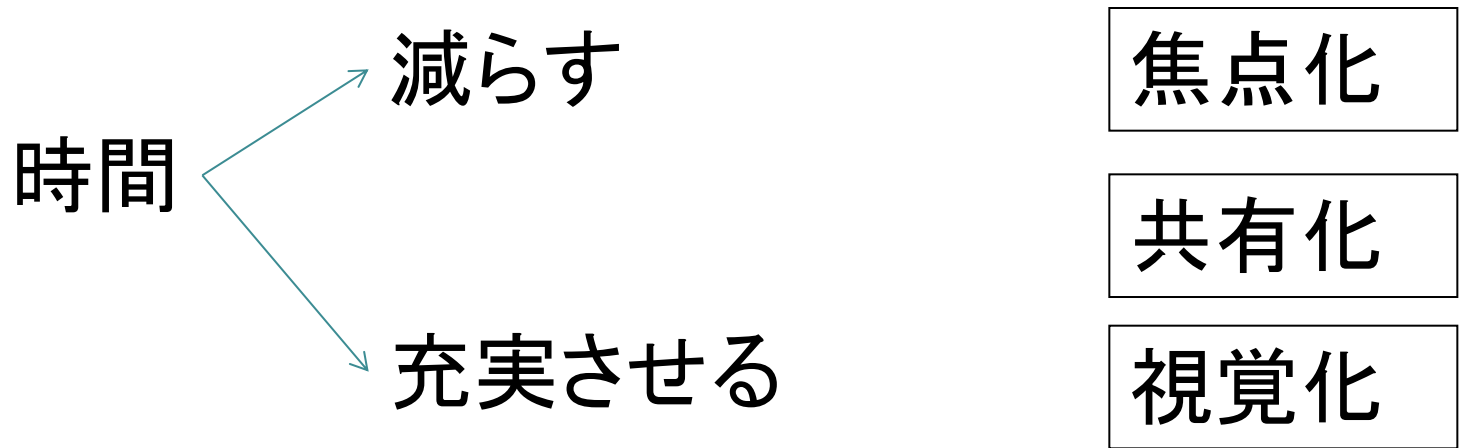
※レベルを下げない。

※教科教育と特別支援教育の融合

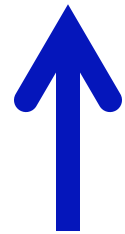
発達障害の児童・生徒のわかりやすさ

つまずき想定し工夫するとどの子にも良い

# 不参加が生じやすいのは



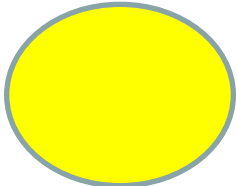
「**」時間を増やす**



一人ひとりの子が「**考えられる**」サポート = 授業のUD化

# おわりに

今、日本の子供たちにもアクティブラーニング  
(探究的・協同的な学び)が求められる。

中一の子供たちが大学を出るときは、  
今ある職業が残っている率は  %

私たちには、未来社会を作る子供たちに  
障害の有無にかかわらずどの子も自立して  
生きられるよう見守り育てる責任がある。

# 自立を目指す指針のいくつか

- ◎自分にとって良き環境とは何かを体験する。
- ◎友人社会での居場所を作る。
- ◎4年生までの学力は十分に。好きな教科を伸ばす。
- ◎一般社会との「折り合い」点を見つける。
- ◎リラックスできる・好きなことがあるのは能力。
- ◎助けを求めることができることは大事な力。



○会場案内の掲示  
廊下は椅子を活用した

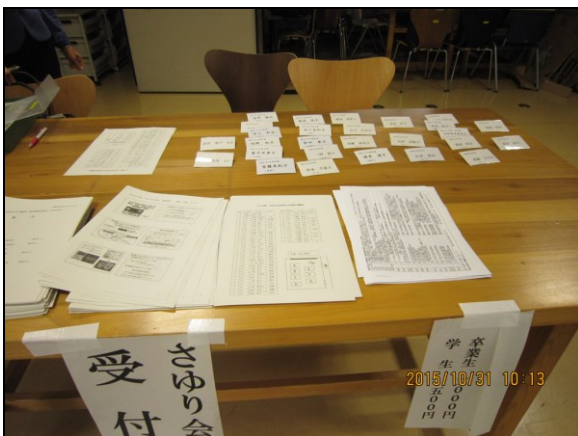


○会場案内  
エレベータ付近にも掲示  
トイレの案内も掲示した



○受付  
机2台を使用  
学生も使用する可能性があるので、前日に机の上に張り紙をして、使用することをアピールした。

\*この場所では受付係は講演が聞けないので、講演会机上のそばに設置してはどうか。



○受付  
名札のほか、総会資料や講演者の資料を配付した。

\*領収書は「希望の方のみ」としたが、希望者はいなかった。今後も渡さなくて良いのではないかな。





○受付



○総会および講演会場  
プロジェクターの確認、花の準備



○総会  
張り紙を作成



○総会  
会長挨拶



○総会  
司会は副会長 青木さん



○総会  
各係の報告  
議長はS43年度 ○○さん



○講演会  
掲示



○講演会  
演台を中央に配置。  
アレンジメントの花とペットボトルを置く



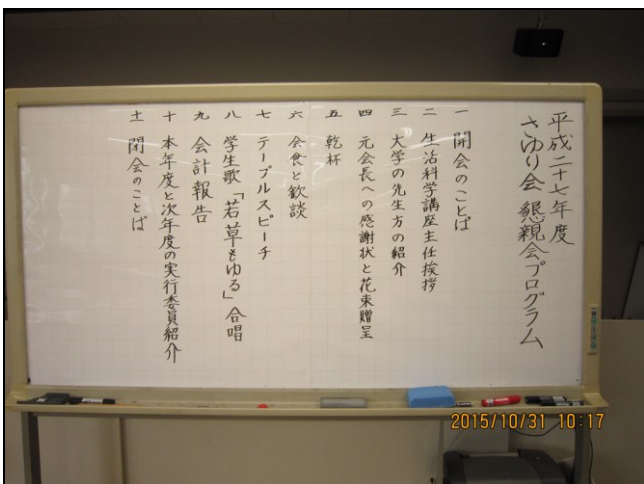
○講演  
勝山氏



○講演  
宮崎氏



○総会・講演会  
会場風景



○懇親会  
プログラムはホワイトボードに手書きした。  
そのほか、A3版のプログラムを壁に2カ所、貼った。  
参加者には配布しなかった





### ○懇親会

講演会の花を、懇親会会場でも飾った



### ○懇親会

テーブル設営

\*テーブル花はもう少しお金をかけもよかったのでは？



### ○懇親会

座席は、教員席の他は卒業年度を基本にまとめた。

4(教員席)~7人ずつで、7テーブル

\*各テーブルの座席は自由としたが、教員、旧教員席に席札があったほうがよかった。



### ○懇親会のテーブル準備

①テーブルシート

②お茶

③お菓子

④お弁当

⑤紙コップ

各テーブルにアルファベット番号とお花



○懇親会  
お弁当



○懇親会  
お菓子は「学芸大饅頭二個」  
包装紙をもらい、前日に実行委員が包装  
した。



○懇親会  
司会は2名で。



○懇親会  
会場の様子





○懇親会

乾杯のご発声は、旧教員 直井道子先生  
講座主任 倉持先生の挨拶



○懇親会

会長から中橋先生に感謝状の贈呈(透明  
スタンドに入れて、コンパクトなものにし  
た)

ご欠席の福田先生には感謝状を郵送し  
た。



○懇親会

花束贈呈は中橋研究室出身H7年卒の  
菊地英明さん



○懇親会

中橋先生のご挨拶

その後、会食。食事がほぼすんだ頃か  
ら、各テーブルから一人ずつスピーチを  
いただいた。

「若草萌ゆる」の合唱



○懇親会  
閉会前に会計報告

\* 4000円の残があった。



○懇親会  
今年度と次年度の実行委員紹介を兼ねて、実行委員長が挨拶



○懇親会  
閉会の辞（司会）

## 交流会前日の作業日程

日 時：10月30日（金）14時 208室集合

連絡 090-.....

場所	1階	602室	501室
使用内容	受付	総会・講演会	懇親会
担当	S45 (◎◎◎ ◎◎ ) S46 ◎◎ S47 (1名 )	S47 (◎◎◎ ◎◎ ◎◎ ◎◎ .....)	S45 (◎◎◎ ◎◎ ◎◎ ◎◎)
掃除	掃除	掃除	掃除
設営	①机、椅子の配置（適宜移動） ②名札 ③配付資料の確認 ・総会資料（◎◎さんが特参） ・座席表 ・講演資料 ④「受付」ピラなどを貼る ⑤会場案内のピラを貼る ⑥受付の打ち合わせ ・受付名簿 ・領収書 ・お釣りの準備 ・	①議長席と司会席の設営 ②602設備のマイク（ワイアレスと有線マイク） ③ハンドマイク *マイクの予備電池の確認 ④プロジェクター（講座共通）、スクリーン、パソコン（私物と404室） ⑤司会、議長、講演者のピラ貼り ⑥廊下に会場案内のピラを椅子に貼り設置 ⑦講演台に花を置く	①テーブルの配置（配置図参照） ②各テーブルの花 ③ランチョンマット ④学生歌歌詞カード ⑤プログラムの掲示（廊下と室内） ⑥廊下に会場案内のピラを椅子に貼り設置 ⑦501設備のマイク（ワイアレスと有線マイク） ⑧「学生歌」CDとデッキ
共通事項	1. 掃除用具は、倉庫からほうき、雑巾を出します。 602と501は、404室のクイックルワイパーも使用します。 2. 教室は終了後、完全復元しますので、現況を確認しておいてください。 3. 作業が終了しましたら担当別に鳴海まで連絡して下さい。確認後、終了、解散とします。 4. 208室にお茶を用意しておきますので、ご利用下さい。		



## 交流会当日のスケジュールと役割

集 合：平成27年10月31日（土）9時15分 208室集合

鳴海連絡 携帯電話番号

時間	1階（受付）	602室（総会・講演会）	501室（懇親会）	記録
	〇〇 〇〇 S47 2名（11時～12時）	〇〇 〇〇	S47 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 （お弁当の受け取り）	〇〇 〇〇
9:15	「さゆり会交流会会場」の張り紙を外に貼る（〇〇 〇〇）  受付準備の確認（〇〇 〇〇 S47・・・2名） 名札、受付名簿、お釣り配布資料、（領収書） *S46, S47 実行委員などの受付を進める 会計報告を501に掲示	マイクの確認（〇〇）	お弁当以外のテーブルセッティング （飲み物、お饅頭など）  手があいたら 602、502会場へ	会場設営、催しの状況などを適宜写真記録する。
9:30	受け付け開始 宮崎さん到着 （手土産、交通費を渡す？）	講演者、さゆり会役員によるPC、スライドの確認 （〇〇、〇〇、〇〇？）		
10:00		総会 開始（役員が進行）		
10:30	勝山副学長到着（大竹対応）	総会 終了 講演会準備 演台のマイク		
10:40		講演会開始（司会 〇〇） 勝山副学長講演 講演終了（手土産を渡す） スライド準備（〇〇） 演台にお茶とカップ（〇〇）		録音 後日テープお越し（〇〇）
10:55				
11:00 12:00	S47に依頼、S45は602へ	宮崎さん講演 講演終了	お弁当の受け取り（S47） お弁当の配置	
		502へ移動 できる範囲で後片付け		
12:20	受付終了 （遅れてくる人は501室で対応）	懇親会開始 （司会 〇〇 〇〇） 1. 開会のことば（司会） 2. 講座主任倉持清美先生挨拶 *間に合わなかったら、登場するまでプログラムを進める。 3. 大学の先生方の紹介（講座主任） *間に合わない場合は〇〇先生に。 4. 元会長への感謝状と花束贈呈（会長） 5. 乾杯（〇〇旧教官） 6. 会食と歓談 7. テーブルスピーチ（各テーブルから一人） （時間があったら適宜指名） 8. 「若草もゆる」合唱 ICデッキ（〇〇） 9. 会計報告（〇〇） 10. 本年度と次年度の実行委員紹介（〇〇） 11. 閉会のことば（司会）		
14:30				
	後片付け 参加者全員に呼びかける。ゴミ袋準備、分別方法を指示（〇〇、〇〇） 名札を各テーブルにおいて退室。501室の出口でも回収（〇〇 〇〇）			
15時頃まで	1階、602室、501室の後片付けと復元（S45とS47） ゴミの廃棄（小金井祭のゴミ処理に従って）			
15時 後片付けが終了後	S45とS47との合同反省会 於208室			会議記録 （〇〇）
16時頃	S45実行委員で使用教室等の点検を行う。 ・復元など後始末の状況 ・掲示物が残っていないか ・さゆり会の物品を208室に収納 ・PC、CDデッキ→鳴海			

## 会計報告

(収入の部)		(支出の部)	
会費(2,000円×47人)	94,000円	弁当代	50,760円
さゆり会補助金	20,000円	菓子・飲み物代	25,500円
		講演者交通費(宮崎氏)	5,000円
		講師手土産(勝山氏、宮崎氏)	6,300円
		生花(花束演台、各テーブル)	9,000円
		会議費(茶菓代)	2,704円
		文房具(インクリボン等)	6,270円
		通信費(送料、切手)	2,140円
		雑費(ゴミ袋、クイックルワイパーシート等)	2,326円
		次年度へ繰越(さゆり会本部へ)	4,000円
合計	114,000円	合計	114,000円

## &lt;備考&gt;

- ① 弁当は昨年と同様、「ごはん家 さくら木」に依頼

東村山市本町 4-12-44

Tel 042-395-2122 携帯 090-7941-8435

Fax 042-393-3638

税込み1080円をお願いした。依頼された金額で内容を考えてというのが「さくら木」の方針なので、魚・果物などを入れた年配女性向きメニューを希望した。

- ② 茶・お菓子は背有情で購入した。お菓子は「学大まんじゅう」を一人2個ずつとした。
- ③ 会議費は、準備打ち合わせ時の茶菓代。
- ④ 文房具はFax受信用のインクリボン、資料等作成用のコピー紙、インクカートリッジ等
- ⑤ 雑費は懇親会、清掃用のゴミ袋、紙コップおよび404室のクイックルワイパーのシート代。